

平成 21～23 年度のフィージビリティ調査等のとりまとめ(案)

平成 24 年 7 月 19 日
自治行政局地域政策課

1. 趣旨

平成 21～23 年度までのフィージビリティ調査等の結果、とりわけ平成 23 年度のモデル実証調査結果を中心に、成果・課題を抽出して類型化を行い、「緑の分権改革」に取り組む地方公共団体が事業化を行う際の参考となるよう情報提供を行う。

2. 類型化の視点

類型化を行うに当たり、以下の4つの視点での取りまとめを行ってはどうか。

(1) 地域における事業の重要度及び事業の継続性のリスク等に応じた類型化

①地域資源の熟度(事業化の困難性)、②地域の経済再生への貢献度、③行政の効率化との関連をふまえ、地域における事業の重要度と事業の継続性のリスク関係をこれまでの調査結果から類型化し、課題等について整理してはどうか。

(2) 地域資源と資源循環の組み合わせ(地域資源の再構成の類型)

地域資源(太陽光、地元農林水産物、文化・観光等)について、どのように資源循環(域内循環による資金創出、域外販売等)させるかについてモデル化。それぞれのモデルについて、成果をあげたポイントや課題等を抽出して整理してはどうか。

(3) 事業化デザイン(地域資源の再構成)上、考慮すべき事項

①事業主体の構成、②地方公共団体の関与と担うべき役割、③事業性の向上を図るための留意点、④ファイナンスの手法の項目を中心に、事業化に向けた流れを類型化(モデルケース毎)し、成果を生んだ要因や課題を整理してはどうか。

(4) モデルケース毎の収支バランスの課題

実証調査・選考事例等を参考に、持続可能な収支バランスとするための課題等を、モデルケース毎に整理してはどうか。

3-1. 地域における事業の重要度及び事業の継続性のリスク等に応じた類型化

地域での事業の重要度及び事業の継続性のリスクについてマトリックスを作成し、これまでの実証調査結果をマトリックス上で整理。

i) 事業重要度高・継続性リスク低、ii) 事業重要度高・継続性リスク高、iii) 事業重要度低・継続性リスク低、iv) 事業重要度低・継続性リスク高、に分け、それぞれの類型の特徴、課題等を整理してはどうか。

事業の継続性のリスクと事業の重要度については、以下の3点を評価して類型化してはどうか。

① 地域資源の熟度(事業化の困難性)

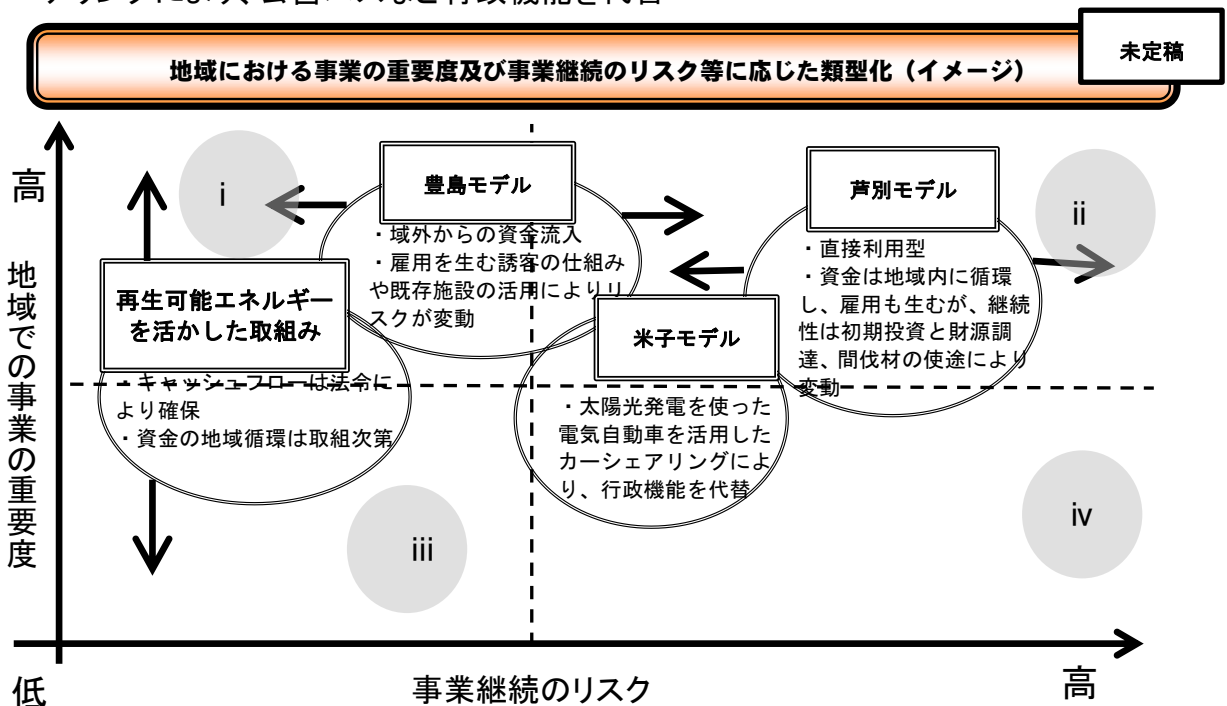
- ・ 再生可能エネルギー…地域資源の熟度高(法令によりキャッシュフローが確保されており事業化の困難性は低)
- ・ 芦別モデル(木質バイオマス)…地域資源の熟度高～中(事業化の困難性は初期投資の水準と財源調達の工夫によって変動)
- ・ 豊島モデル(民泊・いけすを活用した観光)…地域資源(観光客)の熟度高～中(事業化の困難性は既存施設の利用度合、誘客確実性などの工夫によって変動)

② 地域の経済再生への貢献度

- ・ 雇用創出や資本獲得の効果が上がっているか。

③ 行政の効率化との関係(行政機能代替性)

- ・ 米子モデル(太陽光発電)…太陽光発電を使った電気自動車を活用したEVカーシェアリングにより、公営バスなど行政機能を代替



3-2. 地域資源と資源循環の組み合わせ(地域資源の再構成の類型)

- ・ 地域資源…太陽光、小水力、温泉熱・地熱、雪氷熱、地元農林水産物、文化・観光等
- ・ 資源循環…域内循環による資金創出、域内での直接利用、域外販売、域内誘導等

(表1:平成23年度の実証調査結果を類型化したもの)

	循環類型別		域内資源循環型		モデル3	モデル4
			モデル1 資金創出(資源を 域内で販売・消費)	モデル2 直接利用(資源を 地域住民に還元)	高付加価値型 (資源をブランド化 して域外で販売)	域外から域内への 誘導型 (資源で客を域内に誘導)
資源 分類	再生可能 エネルギー	太陽光		鳥取県米子市		
		小水力		群馬県桐生市		
		温泉熱・地熱	秋田県男鹿市			
		雪氷熱			北海道ニセコ町	
	農林水産業	農作物(食品)	北海道江差町		和歌山県北山村	群馬県川場村
	文化・観光等	芸術				香川県土庄町

- ・ それぞれのモデルについて、成果をあげたポイントや課題等を抽出して整理してはどうか。考えられるポイントや課題は以下のとおり。

タイプ1 価値創出+資金創出型(秋田県男鹿市、北海道江差町)

ポイント…温泉宿や農家等との協力、廃校等の既存施設の活用

課題…コストダウンの実現、農産物の安定的な供給体制の確保等

タイプ2 価値創出+直接利用型(群馬県桐生市、鳥取県米子市)

ポイント…太陽光発電の最適規模の検討等

課題…コストダウンの実現、再生可能エネルギー発電による電力供給能力の向上等

タイプ3 高付加価値型(北海道ニセコ町、和歌山県北山村)

ポイント…特産品に新たな価値(環境)を付加等

課題…採算性の向上、商品マーケティング・PR 戦略、地域での商品生産の拡大等

タイプ4 域外から域内への誘導型(群馬県川場村、香川県土庄町)

ポイント…規格外品(廃棄物)の活用、民泊の開設の初期費用軽減

課題… 採算性の向上、提供するサービスのブラッシュアップ等

3-3. 事業化デザイン(地域資源の再構成)上、考慮すべき事項

① 事業主体の構成

事業主体として考えられる以下のものの課題・成果を整理してはどうか。

- i) 中小企業、ii) 複数の中小企業、iii) 地域協議会、iv) NPO、v) 地方公共団体 等

② 地方公共団体の関与と担うべき役割

補助金等以外の行政の信用力を活用した支援策として考えられる以下のものの課題・成果を整理してはどうか。

- i) 基本的な方針の策定政策づくり、ii) 推進方法の検討、iii) 地域協議会の設立準備 等

③ 事業性の向上を図るための工夫や視点

以下の取組について、課題・成果を整理してはどうか。

- i) 人のつながり、ii) 既存の施設・設備等の積極的利用、iii) 規制ミックスの活用、iv) 財政資金の投入、v) 量の経済から質の経済への転換、vi) ライフスタイルの再考 等

④ ファイナンスの手法

地域の金融機関や市民出資等も含めた資金調達について、課題・成果を整理してはどうか。

(表2: 類型化した平成23年度の事業について、各項目毎に整理したもの)

	タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4		課題等
	秋田県 男鹿市	北海道 江差町	群馬県 桐生市	鳥取県 米子市	北海道 ニセコ町	和歌山 県 北山村	群馬県 川湯村	香川県 土庄町	
① 事業主体の構成	・地域協議会、温泉組合等	・えさし水土里の会(農家)等	・NPO、協議組織等	・商店街、まちづくり会社等	・住民参加の委員会、住民参加の企業等	・NPO等	・農産物加工業者、推進委員会等	・観光協会、民泊開設者等	・金融機関等が構成主体に入っていない。
② 地方公共団体の関与・役割	—	—	—	—	—	—	—	—	・事業全体の総合調整以上の役割を果たせていない。
③ 事業性向上の視点	・既存の設備を活用した農作物栽培	・既存の廃校舎の活用	・既存の調査データの活用(平成21年度賦存量調査)	・既存の施設に太陽光パネルを設置	—	・温泉施設の活用	・既存の規格外農作物の活用	・既存の民家を民泊として活用 ・人のつながりの活用	・既存の施設・設備等の利用以外の視点が生かせていない。
④ ファイナンス手法	—	—	—	—	—	—	—	—	・資金調達の検討が不十分。
課題等	・コストダウンの実現等	・安定的な供給体制整備等	・規制法令に関する調整等	・採算性の確保等	・安定的な販路確保等	・商品PR等	・おもてなし体制ブラッシュアップ等	・体験プログラムの開発等	

- ・ 上記①～④の項目を中心に、事業化に向けた流れを類型化(モデルケース毎)し、事項毎に成果を生んだ要因や課題を整理してはどうか。

3-4. モデルケース毎の収支バランスの課題

実証調査・選考事例等を参考に、持続可能な収支バランスとするための課題等を、モデルケース毎に整理してはどうか。

例えば、

○ 木質バイオマスの熱利用の場合

木質バイオマスの熱利用に当たっては、以下の点の検討と必要な支援を行うことが地方公共団体に求められる役割として考えられる。

- ・ 搬出コストと雇用等効果
- ・ 燃料製造コスト(チップ製造の場合)等＝SPC等の活用
- ・ 利用者(最終消費者)に係る経済性と存在量の推計
- ・ 事業性が確保できる資本費の水準とその調達方法

○ 地域の絆(地域のファイナンス)により事業推進する場合

- ・ 事業化可能な事業収入と経常的費用との関係
- ・ 初期費用の地域からのファイナンスの種類(地元有志等の投資、住民 bonds(私募債)、地域金融機関・ファンドからの融資、地方公共団体からの支援(出資・施設の無償貸与、地活債・過疎債等の充当等)など)